



ボーカロイド教育版 導入事例

掛川市立中央小学校

三輪 直司 校長

掛川市立中央小学校では2020年より「ボーカロイド教育版」をご利用いただいております。掛川市立中央小学校で行われる日々の授業では、ICTの活用にも力を入れられており、電子黒板やタブレット端末など日常的に授業で活用されています。タブレット端末やデジタル教材を有効活用し、「かけがわ型スキル」の育成を目指される、同校の三輪 直司 校長にお話を伺いました。



導入の経緯やきっかけ

「ボーカロイド」との出会いは約5年前、校長として在籍していた中学校にて、音楽教員から「ボーカロイドを授業で活用している学校があるようなので、本校でもぜひ使ってみよう」という声がありました。自身も「ボーカロイド」を使った授業に興味を持っており、実際に「iVOCALOID(※1)」アプリを中学校に導入し、授業で活用しておりました。

今回、中央小学校にて「ボーカロイド教育版」導入の決め手になったのは、新型コロナウイルスによる授業の変化です。昨年から新型コロナウイルスの影響により学校生活や授業の活動内容が日々変化していく中、特に音楽の授業における活動は制限されるものが多い現状があります。「やれることが限られている状況でも、子どもたちの音楽の学びを継続させるためにできることはないだろうか…」と想いを巡らせる際、「ボーカロイド」の存在を思い出しました。本校では「新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した音楽授業の実践」と「音楽授業の新しい学び」という2つの観点から、「ボーカロイド教育版」の導入を決意いたしました。

※1 iVOCALOIDは2021年9月現在 生産を完了しております

ボーカロイド教育版の評価ポイント

「ボーカロイド教育版」は活用の幅が広く、子どもたちの想いを形にできる音楽ソフトであると感じています。本ソフトは個別で学習するスタイルでも、協働的に学習するスタイルでも活用することができるので「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業が実践しやすいと考えています。また、現在 子どもたちの間で人気の高いJ-Pop楽曲には、ボカロP(ボーカロイドプロデューサー)が作曲したものも多く、子どもたちにとって「ボーカロイドで作曲した楽曲」というものが身近になっている今だからこそ、ボーカロイドを活用した授業が活きてくると感じています。

ボーカロイド教育版に期待すること

授業環境の話になってしまいますが、実は、音楽の授業を普通教室で実践できるという点で「ボーカロイド教育版」には魅力を感じています。普通教室にはエアコンが設置されているものの、音楽室等の特別教室には設置がない学校もあります。また、新型コロナウイルス感染防止の観点から教室やフロアの移動を減らすという事情もあるかと思えます。普通教室で音楽の授業が実践できることは、「歌えなくても楽器が演奏できなくても、音楽の学びを継続できる」ことへの期待につながります。



その他に、「ボーカロイド教育版」を音楽の授業で活用する際は「教科書の学び」と絡めていくことが重要だと感じています。「タブレット活用在りきの授業」ではなく、「授業在りきのタブレット活用」です。学習指導要領に沿って授業を進めていく際、どんな時に「ボーカロイド教育版」を活用したら効果的なのか、「ボーカロイド教育版」があるとどんな発展的な学びにつながっていくのか…。そのあたりの情報を今後、発信いただけることを期待しています。

インタビュー詳細

インタビュー実施日:2021年8月27日

取材協力:株式会社高文、静岡日電ビジネス株式会社